

自己評価の結果について

(平成 25 年度)

学校法人旭川カトリック学園 砂川天使幼稚園

1. 本園の教育目標

学校教育法に準じながら、教育の根底をキリストの教えにおき、カトリック的な人間観に基づき日々の生活の中で、真理を求め、人を愛することに喜びを感じる心を育てることにある。人格形成の最も大切な幼児期に <お祈り・親切・がまん> をモットーに、祈る心、愛する心、ありがとうの心を育つことを願い、幼児にふさわしい環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としている

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

昨年度の自己評価の取り組み状況を、職員一人一人が認識し改善を心がけながら、反省を踏まえ学期末ごとに話し合い、園内研修を積極的に取り入れ自己の達成度を高めていく。また教育課程内容を改めて全員で確認し、教職員の共通理解を図り本園の根本となるカトリック教育を更に深めていく。近年、少子化の影響において年々園児数が減少する中で、保護者のニーズを考慮しあらゆることに積極的にかつ柔軟に取り組み、地域に根ざした魅力ある幼稚園を目指していく。恵まれた自然環境の中で子どもたちが生き生きと活動が出来る保育内容に取り組む。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目・目標	取組み状況
1. 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">・保育計画の作成等は学年ごと話し合い計画を立て、月毎に反省を含め翌月の保育計画について職員会議で共通理解に努めている。・教育課程については、カトリックの教えである園の教育理念や目標を 25 年度初めに改めて話し合い、個々の保育の計画や実践、行事などの計画に取り入れ、保育計画・内容の質を高めた。
2. 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">・園舎内外の安全には十分留意し、毎朝、遊具等の安全点検に努め、危険な箇所や遊び方、また事故、怪我に関することは随時、園長に報告し職員間の共通理解が行われている。また園児自身が安全に留意するような取り組みも行ってきた。・職員全員が共通理解のもと園児ひとり一人の様子を把握し、担任以外の園児にも対応している。親子登園では園児との関わる場を増やし、今後更に子育て支援の内容を広げていく。
3. 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。	<ul style="list-style-type: none">・保育者としての意識と自覚と責任をもった言動で園児や保護者に接し、何よりも子どもを大切に思い園児一人一人の成長の喜びを共に感じ使命感を持って毎日の保育に携わっている。・周りの意見を素直に聞き、常に園児の気持ちを大切にし専門性に関して自ら学び知識を増やし、自分の意見を積極的に伝え職員間の共通理解を大切に保育者としての資質向上に努めている。
4. 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応を図る。	<ul style="list-style-type: none">・園便り、クラス便りを発行し園児やクラスの様子を保護者に会報し、また行事の写真や新聞掲載の記事等を掲示し保護者が来園時に見られるようにしている。・保護者からの相談や要望には職員会議等で提示し話し合いのもと真摯に対応をし、保護者のニーズを把握し可能なことは要望に応じるように心掛けている。
5. 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域解放の努力をする。	<ul style="list-style-type: none">・年長児のあいさつ運動、老人ホーム慰問、買い物体験などを通し、地域社会に触れる機会が多く、色々な人や社会との関わりを持つことができた。今後少しずつ全園児が地域社会との関わりを持つようにしたい。・今年度においても小学校との連携は、5年生との交流と入学児の引き継ぎの話し合いが年度末に行われる。今後小学校と連絡をとり、幼小連携の基礎を作っていく。

<p>6. 研修と研究 研修・研究を積極的に行い、専門性を高め、努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の専門性を深めるため、それぞれ研修、研究への意欲を持ち研修会に参加している。今後更に専門性を高めるため、積極的に様々な研修に参加すると共に、研修内容を分かち合い園内研修の充実を図っていく。
<p>7. 情報公開 保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報保護に留意しつつ、積極的に園便り等で公開する努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園だより、クラスだよりで保護者との連携をはかり、また園内写真掲示や年長宿泊保育ビデオ上映など情報公開に取り組み、園や子どもの様子を知っていただいている。また、学校評価結果においてもホームページ、園内閲覧で公表している。引き続き本園の特徴、良さ、教育目標の理解を深めていただき、より開かれた幼稚園を目指し情報公開に努め、地域に根ざした幼稚園づくりに努めていく。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

毎年自己評価をし、学校評価の結果を改めて園全体で認識することにより個人や本園の機能として不十分な部分が明確になり、園としての改善すべきこと、また職員個々の課題とすべきことがより明らかになり今後の課題のめやすとなる。今後も定期的に話し合いを設け、実状と改善策を掲げ自己向上と園の発展に努めることを目標としていく。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
<p>安全管理 ・緊急災害時の具体的な対策 ・不審者侵入時の対策</p>	<p>緊急災害時や自由遊び時の避難の際の具体的な方法、職員の役割また保護者への連絡など教職員、園児共に災害等に対応できる知識と行動について認識し身につけていく。また、不審者侵入時の対策についても明確にする。</p>
<p>地域社会との関わり ・小学校との連携 ・子育て支援</p>	<p>幼稚園児を中心として、次段階の小学校入学のため小学校との連携がとれるよう具体的な方法を話し合い、小学校へも理解を求めていく。また、入園前の未就園児や保護者に対しての子育て支援（ひよこルーム、園庭開放等）のあり方を、より機能的になるように職員間で話し合い共通理解を深める。</p>
<p>園に対する保護者の満足度の把握</p>	<p>保護者の満足度はその時々により異なり、保護者のニーズに関しても幅が広いこともあるので、全部に応えていくのは難しいのが現状である。しかし、園としては社会情勢に常に関心をおき、保護者の立場になり少しでも歩み寄り、子どもたちの成長の手助けとなる保育の場であるように、保護者の理解と信頼を得られるように家庭とより良い連携を保つよう努めていく。また、仕事をしている母親が増えてきているので、園の手伝いとして負担にならないように考慮していく。</p>

6. 学校関係者の評価

本園の教育目標であるキリスト教精神に基づいたカトリックの教え、教育理念については多くの保護者に理解を得られている。また教職員に対しての評価も、子どもや保護者に対しての対応を通じて信頼度の高い結果を得ることができた。預かり保育、体操教室、園行事が良いという意見が多かった中で、学習的な保育を希望する意見もあった。また、園が保護者同士の関わりあえる場になっていないという意見が多かったので、保護者にとって親同士の良い関わりを考慮し、子どもを通し保護者同士の交流の場となるように努め、今後さらにカトリックの精神を生かしながら、現状に留まることなく新しいことにも目を向け、“子どもを真中”により、向上する保育に努めていくようにしたい。

7. 財務状況

大手監査法人である太陽 ASG 有限責任監査法人（東京）の監査を受け、適正に運営されていると認められている。また、法人本部の財務状況報告により効率的な運営に努めている。